

第3次南あわじ市男女共同参画計画 基本理念（案）

基本理念

生きづらさを感じない、感じさせないまちへ

<考え方>

- 男女共同参画については、これまでの継続的な普及啓発事業などの取り組みにより、その重要性や必要性についての認知が図られてきた。
- 一方、「社会の中では男性の方が優遇されている」と感じる市民が多い状況や、家庭生活では「家事・育児」、「家族の介護・看護」などは、多くの市民が「夫婦同程度で分担」を理想とするものの、現実には、ほとんどを「妻」が担っているとされ、男女共同参画に係る理想と現実には乖離が見られるなど、いわゆる「性別的役割分担意識」がベースとなった社会生活の実態が見られる。
- 「性別的役割分担意識」がベースにある社会生活の中では、女性の社会進出や活躍の観点では、女性は無意識に又は意識的に様々なことを『あきらめ』、そうしたことが『生きづらさ』へも繋がっていくことなどが懸念される。
- 更に、「性別的役割分担意識」における「男性」、「女性」との固定的な概念がベースとなる社会では、マイノリティとされる「LGBTQ+」の理解は進まず、「LGBTQ+」の人たちは、『生きづらさを感じながらの生活』を余儀なくされているとした懸念もある。
- 今後の男女共同参画の推進では、「性別的役割分担意識」を根本とした「性」による差別や偏見などを排除し、「男性」や「女性」、「LGBTQ+」に関係なく、全ての人・市民が「生きづらさを感じない」、「生きづらさを感じさせない」社会を形成していくことが必要かつ重要であると考えられる。
- このため、「第3次南あわじ市男女共同参画計画」では、『生きづらさを感じない、感じさせないまちへ』を基本理念として、「全ての市民が、自分らしく、ありのままの自分で、いきいきと生きられる」よう取り組みを進め、男女共同参画社会の実現を目指す。